

# 神のおとずれ

日本聖公会 神戸教区報



## 2020年 7月号

発行所  
神戸教区事務所  
TEL 078(351)5469  
FAX 078(382)1095  
<http://www.nskk-kobe.org/>

発行責任者  
司祭 上原 信幸

印刷所  
文明堂印刷所

## 泣く人と共に 泣くことが出来るように

司祭 イサク 坪井 智



### 台風被害が残る長野

緊急事態宣言が出る少し前、長野から東北にかけて被災地訪問をしました。

ご存じかとは思いますが、長野県は、昨年の台風十九号により千曲川が氾濫し、民家や多くのリンゴ畑が被害を受けました。約五ヶ月経った今、

今年の作付けのため畑の準備をしなくてははいけません。ところが、まだ泥が溜まったままで、作業をする車両も入ることができない状況です。また泥はリンゴの木に良い影響を与えないそうで、除去したいが人手が足りない、頼みの綱のボランティアも次第に少なくなり、またコロナの影響で人が集まることができなくなっているという現状です。現地を視察し現状を聴き、彼らの苦しみ・悲しみを心に留めつつも、何も出来ずに現地を後にするしかありませんでした。

### 常磐線の開通

今回の旅では、全線開通した常磐線に乗るのが目的の一つでした。今回列車に揺られながら、風景を眺める旅も良いなと思えました。ただ、この常磐線の開通に関しては、手放して喜ぶことが出来ないところがあります。福島第一原発に近い大野駅で、津波によりお父様、奥様とお子様一人を亡くされた、木村さんにより家族が行方不明になり、その捜索を原発事故によって阻まれてしまい、安否結果が全て分かったのはつい最近という、二つの苦しみを経験された方です。彼も、全線開通を複雑な思いで受け止めていました。私たちの一番の懸念は、これで震災は全て終わった、原発事故に汚染された所もすっかりクリーンになったと、世間の人が思い込



んでしまうことでした。実際、大熊町の大部分は今でもフェンスで仕切られ通行証がないと入る事が出来ません。人がおらず、町は死んだままです。列車は通っているが、乗降客はほとんどありません。手元の線量計は、原発に近づくにつれ数値がアップしていき、除染されたとは到底言えませんが、その様なかで被災した方々は、先が見えない苦しさに今ももがき苦しんでいます。

### 放射線の恐怖を 想像する

常磐線全線開通や帰還困難地域の避難指示解除は、オリ

ンピックを控える今、「もうフクシマは大丈夫です」と世界にアピールするパフォーマンス感が強いと、私は思っています。また、「もう十年経った、大丈夫だ」「いつまでも被災者ぶっているな」と思っている人も存在します。苦しんでいる人の思いを、その様な人に伝えるには、どの様なしたら良いのでしょうか。そう思っていた私に、木村さんは次のような話をしてくださいました。「コロナウイルスと放射線は、似ているように思う。どちらも見えないけど、被害をもたらす。コロナウイルスの恐怖と同じような恐怖をフクシマの人たちは放射線によって味わってきた。これからも味わわなくてはいけない。でも、もしかしたらコロナウイルスに恐怖を感じた人なら、放射線の怖さも想像してもらえないのでは。」

どうか想像力をもって「泣く人と共に泣く(ローマ十二:十五)」ことができる人になつててください。そして、共に泣くことができる人であり続けてください。

(松蔭中学・  
高等学校チャプレン)

# 論説・特任聖職

広報部より「何か論説を書いてほしい」という依頼がありました。「論説?」と思いがらも、二月末に聖公会神学院の神学研究会で発表したものを簡単にご紹介致します。

\* \* \*

まず「特任聖職」という言葉についてですが、日本聖公会では一九七七年の総会で、教会とは関係のない仕事で収入を得ながら聖職として奉仕する人々を「特任の司祭・執事」とする、とされました。

## 特任聖職のはじまり

一九三〇年、全聖公会の主教たちが集まるランベス会議で特任聖職が認められました。しかし、この時はまだ「特任聖職はあくまでも専任の補佐」という認識でした。

その後もランベス会議で特任聖職についての議論は深められ、一九五八年の会議で「特任聖職に神学的な問題はない」

とされました。それを機に一九六〇年代に入って、海外の多くの聖公会で特任聖職が

次々と誕生しました。その起因の多くは財政難と人材不足でした。しかし、特任聖職の働きによって教会の宣教の幅が広がったことにより、多くの聖公会が特任聖職を積極的に養成して誕生させるようになり

ました。そして現在、全聖公会で特任聖職を専任聖職の補佐と見なすことはありません。

二〇一八年度の統計によると、英国聖公会で公式に奉仕している聖職は約二万人で、そのうち専任聖職が七千人、特任聖職が三千人となっています。しかし、二〇一八年に按手された執事の半数は特任聖職(しかも、その半数以上が女性)で、その割合は年々増えています。そして、興味深いことに、将来的には財政的な余裕があっても特任聖職の方が専

任聖職より多くなると予測されています。

特任聖職の按手年齢は専任より高いのですが、それは子育てが落ち着いた人や仕事を定年退職した人が、特任聖職となっているからであり、現在奉仕している退職聖職の多くも特任聖職であったと思われ

ます。

もちろん、特任であつても聖職は聖職です。一度、按手されたら、それを取り消すことはできず、神様からの召命が第一です。しかし、それと共に特任聖職の場合は、教会や主教からの強い推薦が重要と言われています。

\* \* \*

「伝道教区制(案)」

日本聖公会の聖職不足は深刻で、主教会は次の定期総会で聖職不足を第一の理由に教区の合併を目指した「伝道教区制(案)」を提案すると言っています。しかし、教会数より聖職数が多い教区は日本聖公会に一つもありません。制度の

詳細を知らないのが、言えませんが、合併しても聖職不足はそう簡単には解決できないでしょう。

もちろん、今まで当たり前としていたことに対して、それを見直し、思い切つてカットすることも大切です。しかし、特任聖職の養成によって、海外の聖公会では聖職不足と財政難を乗り越えたところもあります。それは「牧師に俸給を支払わなくなったから」という理由だけではありません。先述したように、特任聖職の働きによって教会の宣教の幅が広がり、それと共に聖職に召される人も増えたのです。私は決して教区の合併を否定するつもりはありません。しかし、それ以前に海外の聖公会が六〇年前から積極的に取り組んでいる特任聖職の養成を日本聖公会も『積極的』に検討するべきではないかと思

## どのように養成するか

特任聖職の養成について大

司祭 中原康貴・  
高知聖パウロ教会牧師

# オーガスチンの まなざし



主教 小林 尚明

## 『み国が来ますように』の祈り

このお祈りは、二〇一六年英国聖公会で始められたもので、日本聖公会も今年からこのお祈りに参加しました。昇天日から聖霊降臨日までの十一日間のお祈りです。教区事務所から皆さんのところに、祈りのしおり、ポスター、送り状を届けていただきました。

もうすぐ昇天日という時に、家族から質問がありました。「これどうやって使うの？」

昨年十二月号のこのコラムで説明したつもりになっていましたが、いざ資料が届くと、「どうやって使っているのかわからない」というのです。そこで、このお祈りの目的は、十一日間祈ることによって、私たちがイエス様との交わりを深め、証しができるようになること、そして祈りに覚える五人の友人、知人がイエス様

と出会って、信じることができるようになるため、と説明をしました。そして、一緒に一日目をやってみて、やっと納得してくれました。これでは、普通の信徒の皆さんには、少し難しかったかもしれない、と反省しました。

私も五名の方々を選び、その一人の名前を妻に伝えると「それだれ？」というので、「知ってるでしょ、あの入だよ」と説明しますと、「それはいい人を選びましたね」とお褒めの言葉を頂きました。

毎朝、七時からの大聖堂の聖餐式の前に、執務室で朝の祈りをします。その後で、このお祈りをしていました。お祈りの中の「想像してみよう」がとても励みになりました。例えば、八日目の「神のみ心には、五人の友が神の愛を知ってほしい」という切なる願いがあることを、「」を想像して、大きな慰めを感じました。お祈りの期間は終わりましたが、もう少し、五名の方々のことを覚えて祈っていかうと考えています。

皆さんが祈ってみて、難しかったこと、良かったことがあれば、お知らせください。来年もやってみたいと考えています。

(神戸教区主教)

## ミニ神学塾講座 「祈り」について

新型コロナウイルスの影響により、三月から五月の間は教会で集まって礼拝することができなくなり、「自宅での祈り」の式文を使用して、ご自宅で祈りを献げられた方も多くいらっしやるでしょう。この式文は、教区の新型コロナウイル対策室が「み言葉の礼拝」の式文を中心にして、作成しました。式文の構成を簡単に記すと、悔い改めの懺悔の祈りから始まり、聖書のみ言葉を聞いて、使徒信経を唱え、代祷をして、主の祈りを唱え、感謝の祈りで閉じられています。

私自身も教会で集まって礼拝ができなかった期間に、一人の信仰者として「祈り」について考えさせられました。

祈りとは、「神と信仰者との対話である：神についての思索や、単に神に語りかけることだけでなく、神の言を聞くことである」と『キリスト教大辞典』に記載されています。また、「祈りには種類がありま

す」とも記載されているので、ご紹介致します。

①共に集まって行う「公的な祈り」と部屋で寝る前などに行う「私的な祈り」、②式文などを用いて行う「成文祈禱」と時に応じて思うままに祈る「自由祈禱」、③「声に出した祈り」と心の中で祈る「黙禱」、④祈りの内容は、賛美、感謝、悔い改め、祈願、執り成し(他者のために思い巡らすこと)などです。これらをいくつか組み合わせるものと、一つだけを取り上げる祈りがあります。

このように見ていくと、「自宅での祈り」の式文は、一つひとつが祈りであることがわかります。また、私たちはいつでもどんな場でも、祈禱書を使ったり、声に出したり、時には思うままに神様に感謝や願いなどを伝えることができることがわかります。

礼拝自粛中の期間に、たくさんの方から「教会での礼拝開始時間にお家でお祈りをしました」との声を聞きました。その声を聞く度に、それぞれの場で献げられた祈りが神様を中心に繋がっていることを感じ、祈りの力強さを感じました。私自身が牧師として歩んでいるのも、たくさんの方々に祈られてきたからだということも再認識しました。

イエス様も大事な出来事が起こる前は必ず祈り、祈り方がわからない弟子たちに「主の祈り」を教え、十字架に架かる前夜には弟子たちのために祈り、十字架上でも他者のためにお祈りをしました。神様と向き合い、神様と対話することを大切にされたイエス様の姿に目を向けると、他者のために思い巡らし、祈ることもイエス様の教えられた隣人愛の一つの形であることがわかります。私たち信仰者にはイエス様に倣って、神様との対話である祈りを行うことが求められています。祈りをもっと身近に感じて下さい。いつもみ守り、導いて下さっている神様は皆さんとの対話をお待ちしています。

(司祭 杉野達也)  
神学塾運営委員

# 鳩だより

## ご逝去

五月十二日(火)

ヴェロニカ 黒田 美知枝

境復活教会

五月十八日(月)

アンナ 相澤 敏江

神戸聖ミカエル教会

### 諸行事中止のお知らせ

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、左記の行事が中止となりました。

○広島平和礼拝二〇二〇

○第五十六回中高生大会

## 8月の教区関係教役者 逝去記念聖餐式

日時 2020年8月13日(木) 午前10:30  
場所 神戸聖ミカエル大聖堂  
司式 主教 小林 尚明  
説教 司祭 八代 智

### \* 8月の記念逝去教役者

3日	伝道師	益田喜代吉
3日	司祭	シドニー スワン
5日	主教	エドワード ビカステス
7日	宣教師	エミー ウーレイ
9日	宣教師	E トンプソン
9日	司祭	ミカエル 岡崎 正
14日	司祭	ピーター ジャクソン
17日	司祭	パウロ 古本正夫
17日	伝道師	野田 璞水
18日	司祭	関 翊
20日	司祭	ヨハネ 末吉時信
25日	宣教師	エリザ リットソン
27日	司祭	ダミアン 村瀬敬輔

### 広島平和礼拝二〇二〇 中止について

今年も八月五日(水)、六日(木)に「広島平和礼拝二〇二〇」を行うための準備をして参りました。

しかし現在、新型コロナウイルス感染症の脅威が続いています。緊急事態宣言は解除されたものの、引き続き感染予防のための慎重な行動が求められる中で、教区内外に参加を呼びかけての催事の実施は適切ではないと判断し、残念ですが、今年も広島平和礼拝を中止することを決定しました。

### 聖職按手式について

六月二十日(土)、延期されていた聖職候補生ルカ宮田裕三の執事按手式が、徳島インマヌエル教会で小林尚明主教司式のもと執り行われました。この按手

しかし広島復活教会では、この日、原爆によって犠牲になられた方々の追悼と世界平和のために、広島原爆逝去者記念聖餐式を守ります。

皆様もそれぞれの地においてご加祷くださいますよう、よろしくお願いいたします。

広島平和礼拝実行委員長  
司祭 長田吉史

式は、徳島伝道区の四つの教会からの強い嘆願から急遽行われることになりました。公示にある通り、「参加者を限定して(県をまたいで来ていただくかないという条件)」執り行われたい。詳細は、神のおとずれ8月号に掲載致します。

(広報部)



## 7月12日(日) 海の主日

この日の信施金は海員宣教の働きを担っているミッションズ・トゥ・シーフェアラーズ(MtS)のために祈り、信施を献げます。信施金は各教会から管区事務所に送金ください。

尚、各教会で礼拝自粛中に期日を迎えた管区の諸献金(大斎克己献金、神学校のための日献金)についても、ご配慮いただければ幸いです。

## 神戸教区召命黙想会 ~主題~ 「聖霊が働き始める時」

日時 2020年9月1日(火)~3日(木)  
会場 カトリック宝塚黙想の家  
住所: 兵庫県宝塚市売布山手町10-1  
電話: 0797・84・3111

黙想指導 司祭 ヨハネ 芳我 秀一  
(徳島インマヌエル教会牧師)

対象者 神様からの召命を探し求める教区内信徒  
(所属教会牧師の推薦が必要)、現職教役者

参加費・交通費 参加費は無料・交通費は実費支給します。

締切り 8月11日(火)